

"レネゲイドミリオネア"になりたい人は他にいませんか?

お金儲けのスピードや容易さ、自立性において、 よくある一般的で普通の慣習的な限界や規則を 受け入れたくない人は他にいませんか?

「革新的な秘密クラブ」へ ようこそ…

警告:これはあなたが今まで読んだ中で最も長いセールスレターのひとつになるでしょう。

なぜか?

それは、第1に、セールスレターでは通常禁じ手とされている「教え」が、このレターにはたくさん含まれているからです。全米、そして諸外国から、私の"メガコンファレンス"に出席するために約800人の人々が訪れ、レネゲイドミリオネアシップに関する講義を聞きましたが、そのときのスピーチから抜粋した私の発言が数多く含まれています。ですからこれを読むうちに、レネゲイドミリオネアになるということがどういうことなのかをよく理解できるようになります。すぐに行動に移したくなるようなヒントや戦略も得られるでしょう。ですから、このレターを読むこと自体に、利益性があるとも言えます。

> ーボブ・ノースラップ ジョージア州アトランタ

生を切り開いていくのか、それとも、奴隷としてコントロールされたまま一生を終るのかという問題についてです。

これは、"お金"に関するレターです。別のやり方で<u>儲ける</u>ことに関するものです。あなたのこれまでのやり方よりも、速く、簡単に、大きく儲けるやり方についてです。お金を追求するというよりも、む

す。自分の人生の主として、自主的に、主導権を持って、どのようにビジネスを切り盛りし、自分の人

しろお金を<u>引き寄せる</u>ことについてです。本当の豊かさ、安心感、自律性を達成するために、より確実に、より速くお金を<u>貯める</u>ことに関してお話しします。しかし、このレターは、単にお金だけではなく、より多くの事柄に関するものです。あるいは、より大きな文脈の中でお金というものを捉えます。すなわち、あなたが欲しいだけのお金を手に入れるために、何を売買すればいいのか、そして最も重要なことは、何を売買する必要が"ない"のか、ということです。

3番目は、このレターの最後になりますが、正直申し上げて、安くはない重要な決断をあなたにお願いすることになります。そのためには、多くの情報が必要です。



ビジネス、お金、成功、名声、影響力など、あなたの<u>ゴール</u>が何であれ、<u>ゴール</u>は、その達成に向けて、これまで経験したことがないほどはっきりとした、明確な青写真を<u>提供しま</u>す。その一方で、スピード、容易さ、自律性において、一般的で、普通で、慣習的な限界や規則に完全に逆らいます。



では、この新たな青写真に合成される素材が属する分野の一つ一つについて説明しましょう。

No.1: 内部情報

私はこのレターの冒頭で、

"革新的秘密クラブへようこそ"

と言いました。

起業家の世界には、革新的な秘密クラブの世界があります。私たちには一定の知見があり、それは内輪で慎重に、そして用心深く議論されることはあっても、部外者とはめったに議論されません。なぜなら、お金、成功、独立に関する私たちの知見が、多くの人々が信じていることと、あまりにもかけ離れているためです。神への冒涜の疑いを掛けられ、火あぶりにされた魔女のような扱いを受ける危険性があるからです。こんな話は単なる「インチキ」だと思われるなら、1つの証拠として、私がかつて親しく話をしたり、一緒に仕事をしたりしたことのある非常に裕福な多くの起業家たちが、彼らの属する業界のしきたりに真っ向から対立するとして、一度あるいは何度も、仲間、特に事業者団体や同業組合から文字通り迫害を受けてきたことについてお話ししましょう。

私は、この「秘密クラブ」にあなたを招待しようとしています。

もちろん、これまでにも「秘密クラブ」やインサーダー情報について、どこかで読んだり聞いたりしたことがあるかもしれません。しかしその大半は、明らかにインチキくさいものです。私が話しているのは、独特な握手やパスワードや血の儀式を伴った、何か堅苦しい制度的な秘密結社のことではありません。私が今お話ししているのは、かなり大きなグループのことで、私はそのグループを発展させ、そのグループに参加する特権を与えられてきました。その組織は、あなたが「お金」や「富」について、これまで聞かされてきたのとは、あらゆる点で異なる方法を使って多大な利益を上げています。また、世の中の95%の実業家よりも容易に、またそれほど苦労せずに、より楽しく、より自由に、利益を上げ、富を築いています。つまり彼らはほかとは異なる革新的な青写真を持ち、それを利用しているのです。

たいていの場合、彼らがどのように何をしているのか、周りの人々が気づいたり、理解したりすることはありません。彼らは、そして私たちは、しばしばつらい目に合いながら、友人や家族や仲間を啓蒙しようとしても無駄だということを学んできました。

では、正確には"誰"が、"私の"革新的秘密クラブに属しているのでしょうか?

(以下省略)